

保護犬・保護猫と家族になることを当たり前の選択肢の一つに
「保護犬・保護猫 Welcome Family Campaign ~両想いで家族になろう~」
 Amazon が環境省パートナーシッププロジェクト「つなぐ絆、つなぐ命」の一環として、環境省の協力のもと開始



Amazon は、環境省が 2021 年 8 月から開始したパートナーシッププロジェクト「つなぐ絆、つなぐ命」の一環として、保護犬・保護猫関連団体・企業の公益社団法人アニマル・ドネーション、一般社団法人 Do One Good、株式会社 PETOKOTO の後援と、ペット関連用品メーカー各社様の賛同により、「保護犬・保護猫 Welcome Family Campaign ~両想いで家族になろう~」(<http://www.amazon.co.jp/wfc>)を、動物愛護週間の初日にあたる 2022 年 9 月 20 日(火)に開始いたします。

Amazon は、当キャンペーンを通じて、犬猫の保護・譲渡に対する認知と正しい理解を促進し、イメージ向上を図ることで、保護犬・保護猫と「両想いで家族になる」ことの素晴らしさと、「保護犬・保護猫を迎え入れ、家族になることが当たり前の選択肢の一つである」という認識をより多くの方が共有し合える環境づくりを目指してまいります。具体的な施策として、保護犬・保護猫について楽しく学べるオンライン番組の配信に加え、保護犬・保護猫の飼い主を表す新たな愛称や保護犬・保護猫を家族として迎え入れた際のストーリーの募集、Amazon.co.jp で販売する対象のペット関連用品の売上の一部を動物保護団体へお届けする保護犬・保護猫 寄付キャンペーンなど、参加型の取り組みも順次実施してまいります。

アマゾンジャパン合同会社 バイスプレジデント 消費財事業本部 統轄事業本部長 前田宏は次のように述べています。「環境省のパートナーシッププロジェクト『つなぐ絆、つなぐ命』の最初の連携先として、多くの保護犬・保護猫関連団体・企業やペット関連用品メーカーの皆様と新たな取り組みを開始できることをとても嬉しく思います。今回の取り組みが保護犬・保護猫の譲渡促進の一助となり、私たち人間と良きパートナーである犬や猫が共に健康で幸せに暮らせる社会環境づくりに貢献できるよう努めてまいります」。

■保護犬・保護猫について楽しく学べる特別番組「Amazon presents 『みやぞん校長の Welcome Family 学園』」

当キャンペーンの開始を記念したオンライン番組「Amazon presents 『みやぞん校長の Welcome Family 学園』」を 10 月 2 日(日)19:00 に、[アマゾンジャパンの公式 YouTube チャンネル](#)および[公式 Twitter \(@AmazonJP\)](#)にて公開します。当番組では、元保護犬「ラブ」と暮らすお笑い芸人 ANZEN 漫才のみやぞんさんが校長役として、2 匹の愛猫「たいが」「とわ」と暮らすモデル/女優の貴島明日香さんが生徒役として出演し、保護犬・保護猫の譲渡について学びながら、「両想いで家族になる」ことの意味を考えます。その他にも、保護犬・保護猫を迎え入れた飼い主を表す新たな愛称を発案したりと盛りだくさんの内容でお届けします。出演者の犬猫への愛情とみやぞんさんならではのユーモアがあふれる番組となっており、より多くの皆様にお楽しみいただきながら保護犬・保護猫についての理解を深めていただき、「両想いで家族になる」ことの大切さを考える機会をご提供します。



<みやぞんさんのコメント>

このたび「保護犬・保護猫 Welcome Family Campaign」の特別番組に校長役として出演させていただきました。僕にも一緒に暮らし始めて 12 年になる元野良犬のラブという家族がいます。仕事でどんなにくたびれて家に帰っても、いつもラブに癒されて「また頑張ろう！」と思えます。僕もラブにとっていちばん良いようにと考えるようになり「思いやり」を得られました。そんなラブも一緒に出演しています。この番組を観れば、保護犬・保護猫のことを知れて、今よりももっと保護犬・保護猫のことが愛おしく感じると思います。皆さん是非ご覧ください！

■「保護犬・保護猫 Welcome Family Campaign ~両想いで家族になろう~」において今後実施予定の施策

1. 保護犬・保護猫を迎え入れた飼い主を表す愛称の募集

Amazon は、環境省および保護犬・保護猫関連団体・企業と協力して、保護犬・保護猫と家族になることをより身近に感じられるような、「保護犬・保護猫の飼い主」を表す新たな愛称を9月20日(火)から10月16日(日)まで募集します。審査を経て選ばれた新愛称は年内に開催予定のイベント「Welcome Family Award」にて発表し、その後の活動にて採用させていただくとともに、選ばれた新愛称の考案者には感謝状および Amazon ギフト券を贈呈する予定です。より多くの皆様に「保護犬・保護猫を迎え入れ家族になることが素敵なことで、選択肢の一つである」という認識を持っていただくきっかけにしたいと考えています。

<募集詳細ページ: http://www.amazon.co.jp/wfc_name>

2. 「Welcome Family ストーリー」の投稿コンテストを note と Twitter にて実施

ご自身やご家族・ご友人などがこれまでに保護犬・保護猫の受け入れをご経験された方々を対象に、保護犬・保護猫を家族として迎え入れた際のストーリーを9月20日(火)から10月16日(日)まで募集します。ストーリーは、note 公式コンテストと Twitter (@AmazonJP) にてそれぞれご応募いただけます。note 公式コンテストにおいては、審査を経て選ばれたストーリーを年内に開催予定のイベント「Welcome Family Award」にて発表し、選ばれた投稿者には Amazon ギフト券およびペット用品をプレゼントする予定です。さらに、note 公式コンテストにて選ばれたストーリーは2023年に Kindle ダイレクト・パブリッシングにて書籍として出版され、その売上は公益社団法人アニマル・ドネーションを通じて動物福祉に役立てられる予定です。また、Twitter にてご応募いただいた方にも抽選で50名様にペット用品をプレゼントします。

<募集詳細ページ: http://www.amazon.co.jp/wfc_story>

3. Amazon.co.jp で販売する対象商品の売上の一部を動物保護団体へ寄付する「保護犬・保護猫 寄付キャンペーン」

賛同メーカー各社様のご協力のもと、動物保護団体を支援する新たな施策も実施します。9月20日(火)から11月30日(水)までにキャンペーンページから賛同メーカー各社の対象商品をご購入いただくと、期間中の売上の1%相当額の Amazon ギフト券を「Amazon 保護犬・保護猫 支援プログラム」にご登録いただいている動物保護団体へお届けします。多くのお客様の普段のお買い物が保護犬・保護猫の支援につながるよう、ペットフードやトイレ用品、おもちゃ、おやつ、ペット家電など、幅広いペット用品がキャンペーン対象となっております。

<キャンペーンページ: http://www.amazon.co.jp/wfc_d>

4. 10月1日(土)開催予定の「動物愛護週間中央行事」および「2022 動物感謝デー in JAPAN」に参加

10月1日(土)に東京の上野恩賜公園にて開催される「動物愛護週間中央行事」でステージイベントを行うほか、「2022 動物感謝デー in JAPAN」においては Amazon がブースを出展します。ブースでは、当キャンペーンの告知とともに、上記の各種施策に当日ご参加いただいたお客様へ賛同メーカー様のペット用品をプレゼントする予定です。

<「2022 動物感謝デー in JAPAN」公式サイト: <https://doubutsukansha.jp/2022/>>

5. 「両想いで家族になる」を体現する著名人を表彰する「Welcome Family Award」

保護犬・保護猫の飼い主を表す新愛称、note 公式コンテストと Twitter への応募作品から選ばれた「Welcome Family ストーリー」の発表・表彰に加え、保護犬・保護猫と暮らし、「両想いで家族になる」を体現する著名人を表彰するイベント「Welcome Family Award」を年内に開催する予定です。イベントの詳細は決定次第、追ってご案内します。

■保護犬・保護猫に関するアンケート調査で浮き彫りになった、保護・譲渡に対する認知不足と誤解

Amazon が 2022 年 8 月に実施した「保護犬・保護猫に関するアンケート」調査結果^{※1}において、犬猫の保護・譲渡に対する認知や理解が不足している現状が明らかになりました。Amazon は、この結果をふまえて開始する当キャンペーンを通じて、譲渡が当たり前の選択肢の一つとなる社会環境づくりを目指してまいります。

<調査結果サマリー>

まだ当たり前の選択肢になっていない、保護犬・保護猫の受け入れ

- 犬もしくは猫を飼いたいと思った際に「ペットショップ」で探すと答えた人が 54.0%と最も多く、「動物保護団体」は 37.7%。
- 動物保護団体について「具体的な活動内容までは分からないが存在は知っている」「全く知らない」という回答が 8 割以上。

保護犬・保護猫に対するネガティブなイメージ

- 保護団体では動物を安心して迎え入れてもらえるよう、しつけ、メディカルチェック、性格把握、アフターケアなどに取り組んでいるものの、「人を怖がる」(45.0%)、「人に慣れていない」(38.4%)、「病気や障がいがある」(24.8%)、「栄養や健康状態が良くない」(21.6%)、「しつけがされていない」(20.3%)など、保護犬・保護猫にネガティブなイメージを持つ人も依然として多い。

保護猫・保護犬の受け入れに前向きであるにも関わらず、受け入れ方が分からないという実態

- 全体の約半数が保護犬・保護猫を受け入れてみたいと前向きな一方で、全体の 53.0%の人が受け入れ方法を知らず、詳しく知っている人はわずか 3.1%。保護犬・保護猫を受け入れてみたいと答えた人でも、約半数が受け入れ方法を知らない。

<調査概要>

- 調査名：「保護犬・保護猫に関するアンケート」
- 調査対象者：全国^{※2}の 20 歳以上の男女 900 名（犬または猫^{※3}を現在飼っている人 300 名、これまでに犬または猫^{※3}を飼ったことがあるが現在は飼っておらず今後飼いたいと思っている人 300 名、これまでに犬も猫も飼ったことがなく、今後飼いたいと思っている人 300 名）
- 調査期間：2022 年 8 月 19 日(金)～8 月 22 日(月)
- 調査方法：インターネット調査

※1) 本調査は、アマゾンジャパンからの委託先を介して株式会社ネオマーケティングにより実施されました。

※2) 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県 ※3) 保護犬・保護猫を除く。

■Amazon の保護犬・保護猫支援の取り組みについて

Amazon は、より多くの人とペットが、より長くより快適に暮らせる社会の実現に貢献したいという思いから、動物保護団体で暮らす犬猫を支援する「Amazon 保護犬・保護猫支援プログラム」(開始時の名称:「Amazon 動物保護施設 支援プログラム」)を 2019 年 6 月に開始しました。当プログラムでは、趣旨にご賛同いただける方々に、動物保護団体によって Amazon.co.jp 上に作成された「ほしい物リスト」から商品をご購入いただくことで、それらを支援物資として各団体にお届けしています。2022 年 7 月末までの間に、累計 267 の動物保護団体の登録を受け、計 3 億 8 千万円相当の支援物資が当プログラムを通じて動物保護団体へ寄付されています。また、Amazon は、環境省による犬猫の譲渡拡大を推進するためのパートナーシッププロジェクト「つなぐ絆、つなぐ命」の最初の連携先として 2021 年 8 月にパートナーシップを締結しました。

※上記の内容は予告なく変更になる場合があります。各キャンペーンの詳細や最新情報は、「保護犬・保護猫 Welcome Family Campaign - 両思いで家族になろう-」の特設サイト(<http://www.amazon.co.jp/wfc>)にてご確認ください。

Amazon について

Amazon は 4 つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。Amazon は、地球上で最もお客様を大切にす企業、そして地球上で最高の雇用主となり、地球上で最も安全な職場を提供することを目指しています。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、アマゾン ウェブ サービス (AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Career Choice、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa、Just Walk Out technology、Amazon Studios、気候変動対策に関する誓約 (The Climate Pledge) などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービス、取り組みです。Amazon について詳しくは Amazon Newsroom (<http://amazon-press.jp>) および About Amazon (<http://www.aboutamazon.jp>) から。